

ネット配信版・新つれづれ草に掲載の「私たちのマンガ史」は、東京都江東区・森下文化センターにて2016年10月21日（金）から30日（日）の会期で開催しました、新つれづれ草マンガ展「私たちのマンガ史」で展示した展示物を再構成したものです。

私たちのマンガ史
マンガ家デビュー秘話

1970年代初頭、マンガ家になることを夢に見て、その夢に全力で向かっていったマンガ少年たちがいた！

マンガ家としてデビューしたのか？
それとも、しなかったのか？
パネル展示と当時の原画、掲載誌、資料等で今だから語れる、それぞれのマンガ史をご覧ください

手塚治虫の「マンガの描き方」
石森章太郎の「マンガ家入門」
雑誌COMの創刊、サンデー・マガジンの大ヒット
少年ジャンプ創刊、手塚賞・赤塚賞新人賞へ投稿……

イラスト：KINKAN

入場：無料

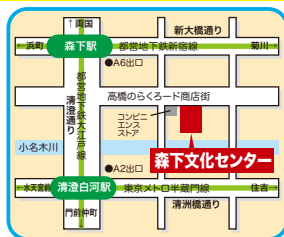
日時：10月21日（金）～10月30日（日）
午前9時より午後9時まで（最終日は午後5時まで）

会場：森下文化センター1F展示ロビー

お問合せ：森下文化センター

〒135-0004 東京都江東区森下3-12-17
TEL03-5600-8666 FAX03-5600-8677
都営地下鉄新宿線・大江戸線「森下」駅A6出口より徒歩8分
都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」駅A2出口より徒歩8分
<http://www.kcf.or.jp/morishita/>

主催・新つれづれ草 共催・森下文化センター



K I N K A N

■ 私たちのマンガ史



山上さんに描いてもらった19歳の俺。

デビュー作
『ああ友情』
1972年「中三コース」



山上さんのところを辞めたあと、かたおかの紹介で、学研で野球マンガを描いた。それがデビュー作やな。

それから小学館で『ひらりん』の編集だった人に、「ビックコミック」で上村一夫さんの連載が始まるから、行ってくれへんかと。ちょうど金もなかったから、週3日で手伝いに行くことになった。で、一回行ったら、1万円もろろたんや。交通費もくれて。3日で3万円。一週間行くと6万ぐらいになるやん。ええなあつて（笑）。

文・新つれづれ草第13号掲載「つれづれインタビューマンガびと」より抜粋加筆

次ページからの掲載作品は、「中三コース」

(学研) 1972年9月特大号掲載のデビュー作「ああ友情」



ナンセンス野球マンガ

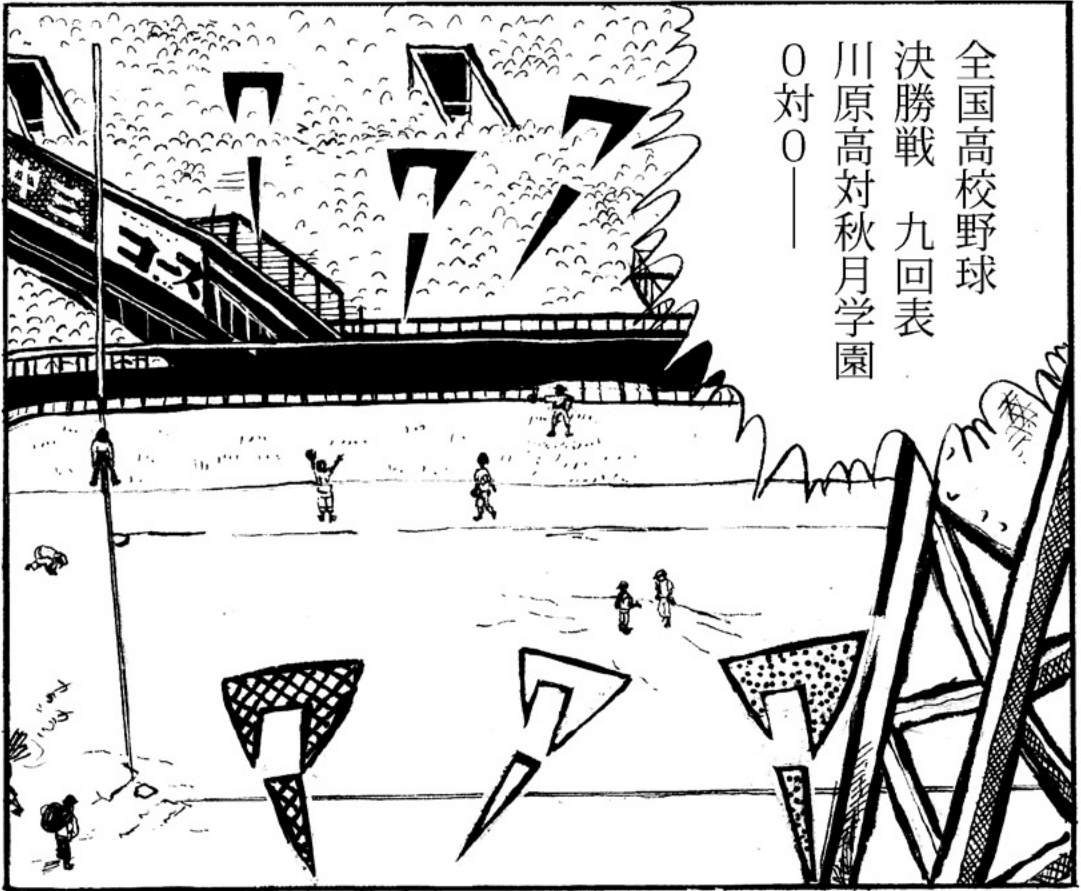
あゝ友情

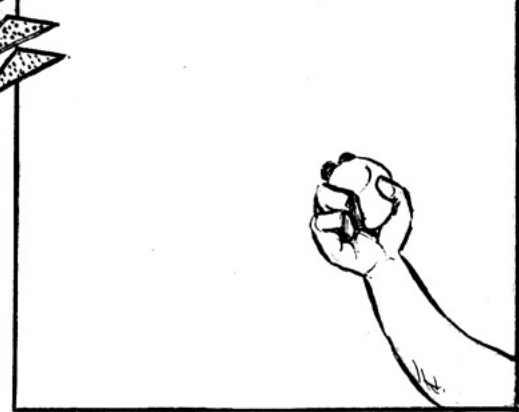
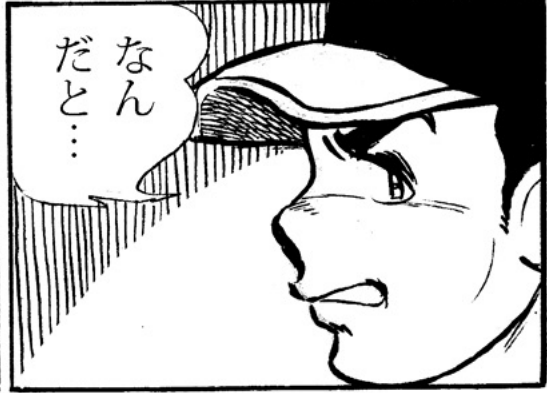
男の友情とは？！

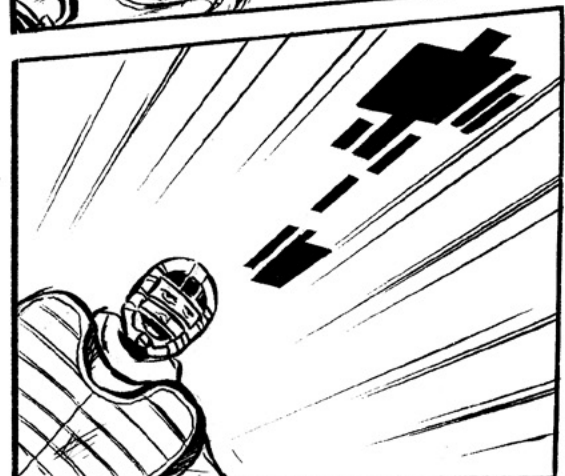
金城広道

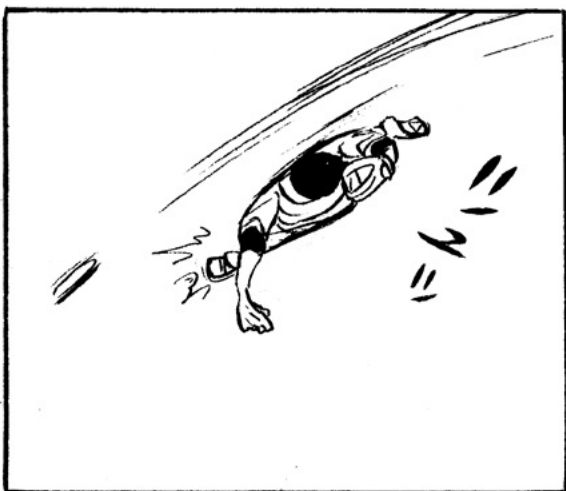


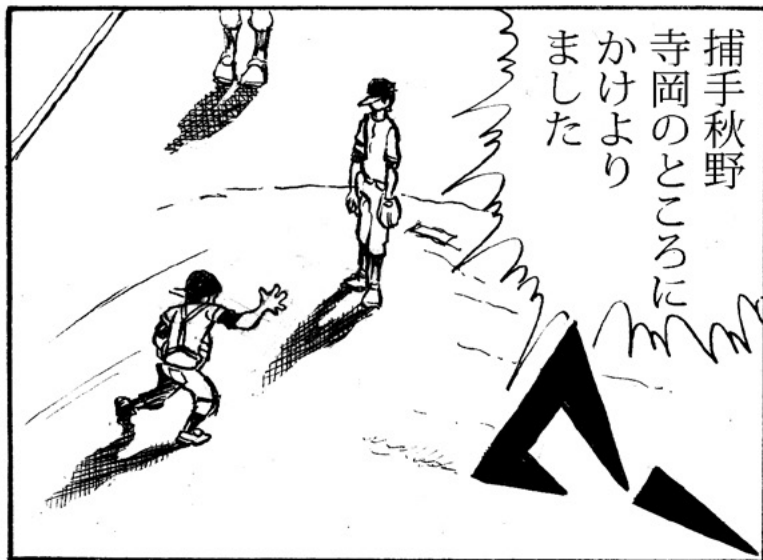
全国高校野球
決勝戦 九回表
川原高対秋月学園
0対0





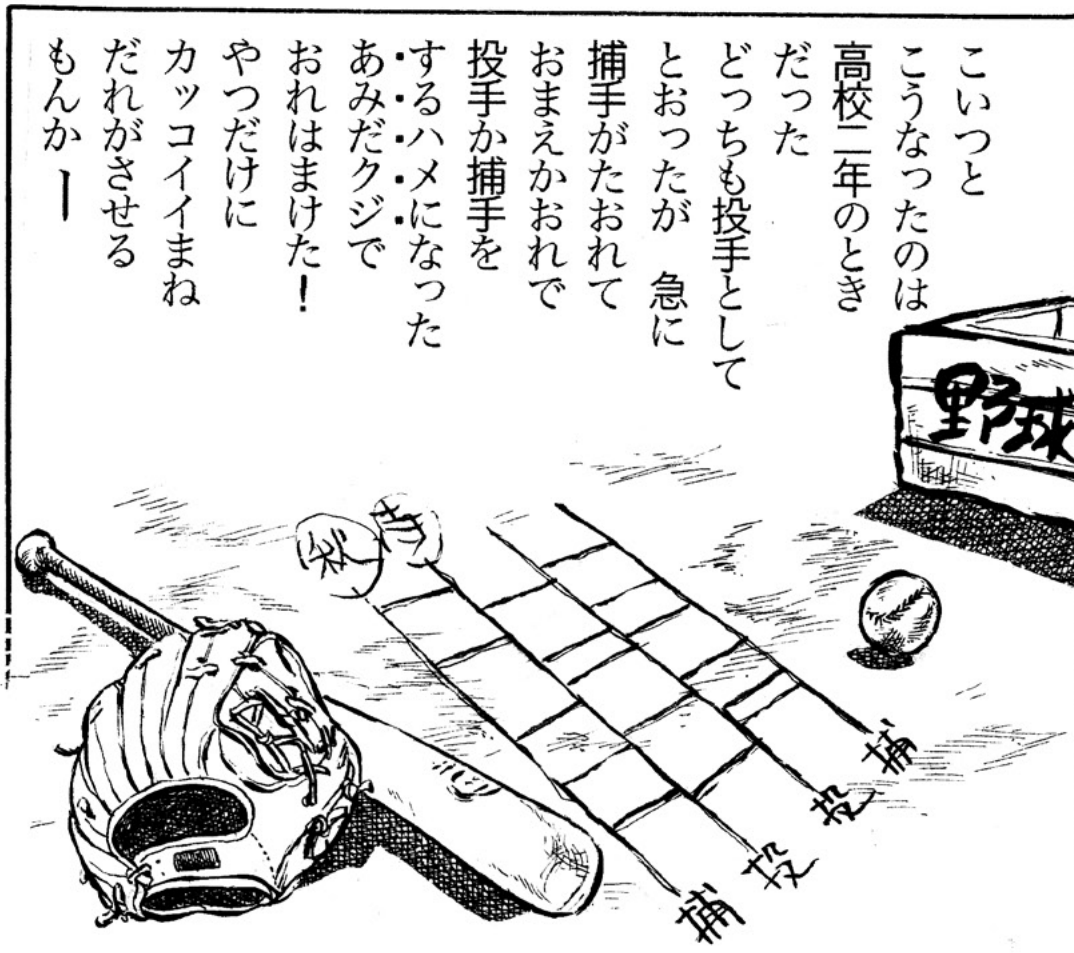
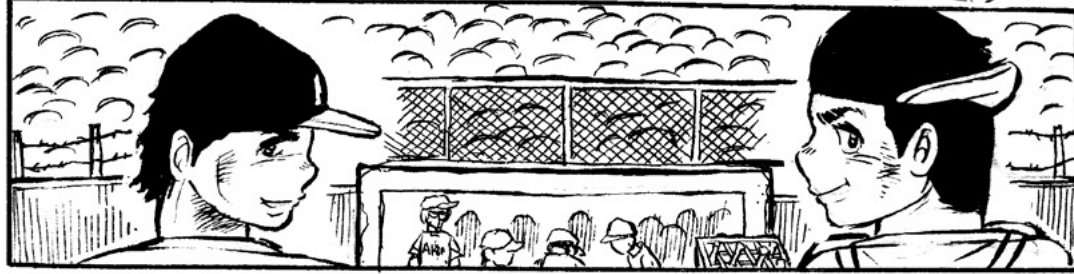




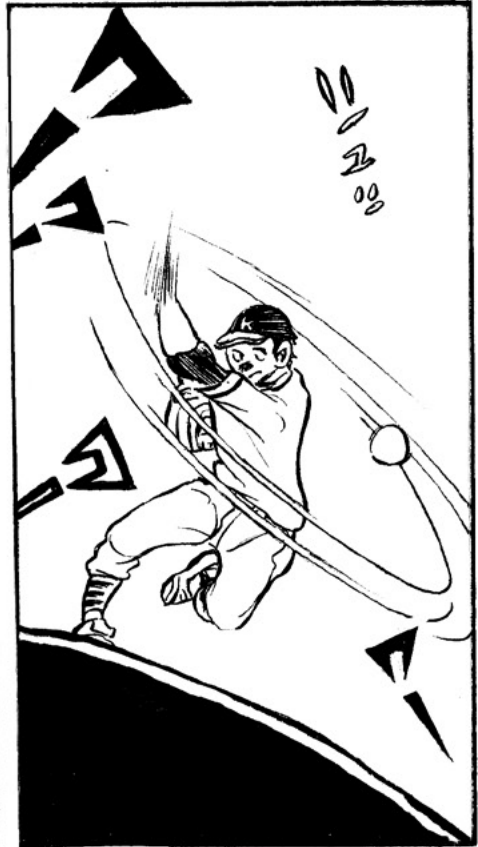
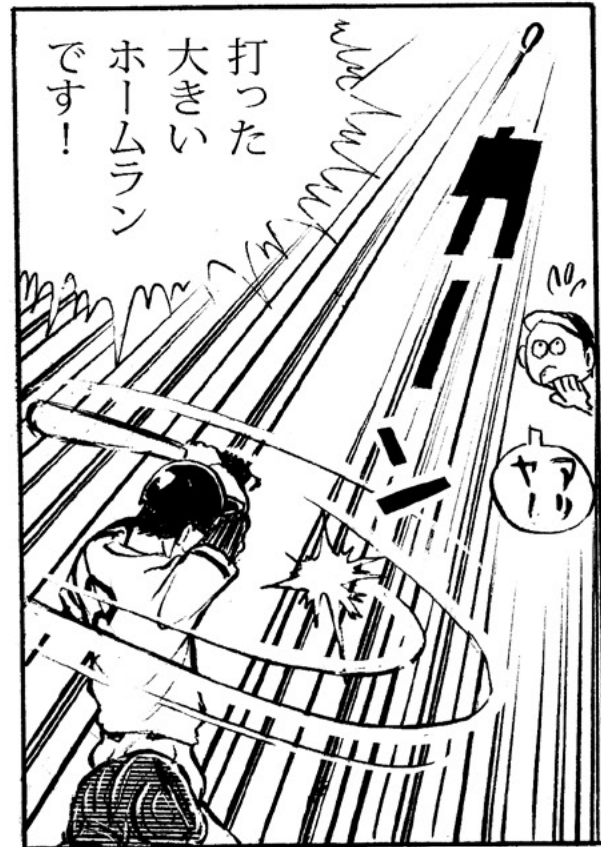


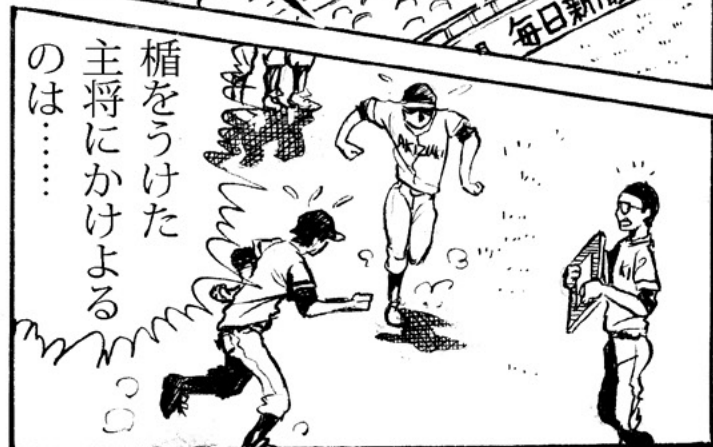
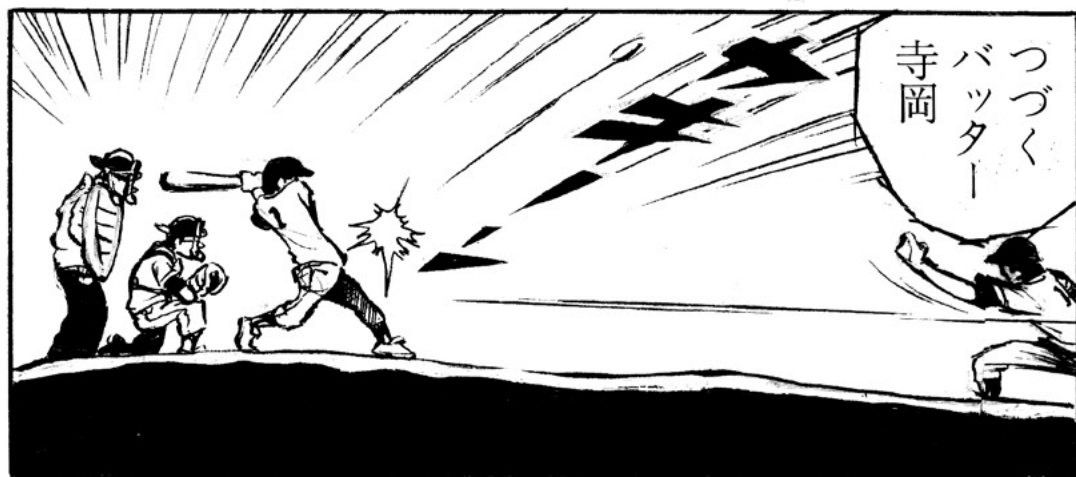


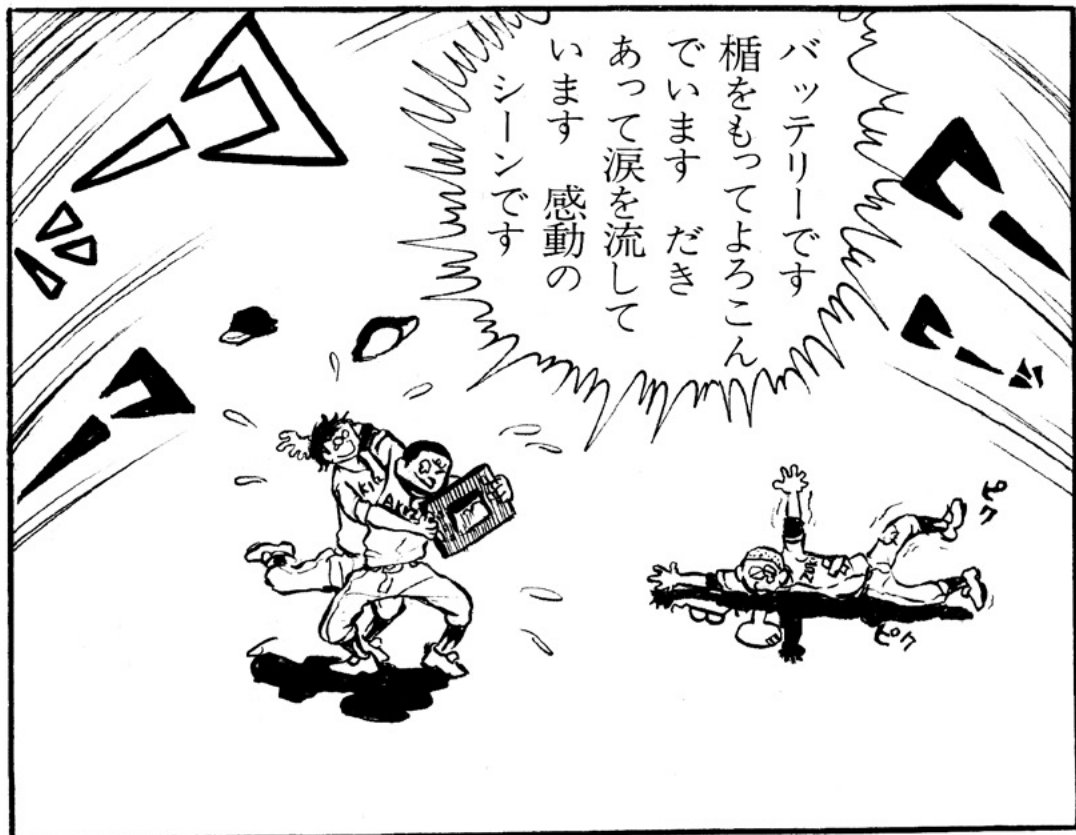
ストライク
チェンジです
秋月1点
リードされた
まま
九回裏に
向かいます



こいつと
こうなったのは
高校二年のとき
だった
どっちも投手として
とおったが 急に
捕手がたおれて
おまえかおれで
投手か捕手を
するハメになった
あみだクジで
おれはまけた！
やつだけに
カッコイイまね
だれがさせる
もんかー







ああ このスバラシキ友情を見よー おわり